

《履修上の留意事項》精神保健福祉論 を履修済であることが望ましい。

【遠隔授業のみ実施】

《担当者名》佐藤 園美

【概 要】

精神保健福祉論（2年後期）の内容を踏まえ、精神保健福祉法成立までの経緯と意義について学ぶ。さらに精神保健福祉に関する制度とサービスについて精神保健福祉法を中心に理解する。

【学習目標】

- 1 現在の日本の精神保健福祉の現状を理解するため、精神保健福祉法成立までの経緯とその後の変化について知る。
- 2 ソーシャルワーカーとして実践で必要とされる知識習得のため、精神保健福祉法の概要を理解する。
- 3 ソーシャルワークの専門職として求められる状況を分析し、考察する力を身につけるために、精神保健福祉分野の課題について情報を収集し、自分の考えを述べる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論 の振り返り 表面化しない精神保健福祉の課題と社会的支援	佐藤
2	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法成立までの経緯	佐藤
3	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法以降、精神保健福祉法成立まで経緯	佐藤
4	世界の精神障害者福祉施策	精神科病院を廃止したイタリアのトリエステについて 知り、日本との違いについて考える。	佐藤
5	世界の精神障害者福祉施策	フィンランドの精神科医療 オープンダイアログについて学ぶ。	佐藤
6	精神保健福祉法成立の意義とその後の変化	精神保健福祉法成立の意義についてグループディスカッション	佐藤
7	北海道の精神保健ソーシャルワーク	北海道の精神保健ソーシャルワークの歴史について学ぶ。 先駆者の1人である佐々木敏明先生のお話を聞く。	佐藤
8	精神保健福祉法、障害者基本法の概要 （課題提出）	精神保健福祉法、障害者基本法と精神障害者施策とのかかわりについてのレポートを提出	佐藤
9	精神保健福祉法の概要	精神保健福祉法の目的および対象 医療および保護 入院制度と精神保健福祉士の役割	佐藤
10	精神保健福祉法の概要	保健及び福祉 精神障害者保健福祉手帳について学ぶ。	佐藤
11	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	障害者基本法と精神障害者施策とのかかわり	佐藤
12	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	障害者総合支援法成立の背景 障害者総合支援法について学ぶ。	佐藤
13	日本における精神保健福祉の現状と課題 （課題提出）	精神保健福祉に関する内容について、グループでテーマを決めてグループディスカッションを行い、プレゼンテーションの準備をする。 配布資料作成。	佐藤
14	日本における精神保健福祉の現状と課題	グループ毎に自分たちの決めたテーマについての発表を行う。	佐藤

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
15	精神保健福祉の最近の動向	前期授業の振り返りとまとめ 前回のグループプレゼンテーションの内容を踏まえて、クラス全体で日本における精神保健福祉の今後について考える。	佐藤

【評価方法】

授業終了時の小テスト30%（10点×3回）

課題レポート30%（2回）

プレゼンテーション40%

【備 考】

教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編集『新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉に関する制度とサービス 第6版』中央法規（2017）

参考書：『社会保障の手引き 施策の概要と基礎資料 2020年度版』中央法規

その他：この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉に関する制度とサービス」に該当する。

【学習の準備】

指定した法律の内容を調べノートにまとめる。

グループプレゼンテーションのテーマにそって必要な資料を集め、グループ討議を繰り返しながら、発表の準備をする。

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を事前に読んで予習しておくこと。（80分）

授業のリアクションペーパーに書いた疑問点を中心に内容を整理し学習を深める。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院、社会復帰施設で精神保健福祉士として働いた経験を活かし、実践的な教育を行う。